

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床病理学Ⅲ	2年次 前期	必修	講義	1単位（30時間）	福田 修 ※
授 業 概 要					
<p>疾病の成り立ちや症状、診断のための検査・治療について学び、健康障害時の人間の反応を理解する。 この内容は、健康障害がある対象への看護実践の上でも、疾病予防や健康増進の上でも、大変重要な基礎となる学問である。</p>					
到 達 目 標					
<p>1. 各臓器・器官の代表的な疾患について病態生理及び症状を説明する。 2. 代表的な疾患の検査・診断・治療法・予防法について説明する。</p>					
回	学 習 内 容				担当教員
1-7	<p>1. 筋骨格系疾患 代表的な筋骨格系疾患の症状と病態生理/検査と治療・処置/予後 ・骨折（大腿骨頸部骨折） ・変形性膝関節症 ・椎間板ヘルニア/脊髄損傷</p>				外部講師
8-15	<p>2. 脳神経系疾患 代表的な脳神経系疾患の症状と病態生理/検査と治療・処置予後 ・脳出血/クモ膜下出血/脳梗塞 ・脳挫傷 ・パーキンソン病</p>				福田 修 ※
学 習 方 法					
<p>講義中心に進める。各疾患を学ぶ事前学習として解剖学・生理学等の復習を行っておくこと。また、各学習内容の予習を行い、主体的に講義に臨むこと。テキストを何回も読みましょう。</p>					
評 価 方 法					
<p>[評価方法] 科目修了試験</p>					
先 修 科 目					
なし					
教 科 書、参 考 書					
<p>[教科書]            系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [10] 運動器 加藤光寶 他著 医学書院            系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [7] 脳・神経 竹村信彦 他著 医学書院</p>					